



細胞治療のためのマイクロ・ナノシステムの開発



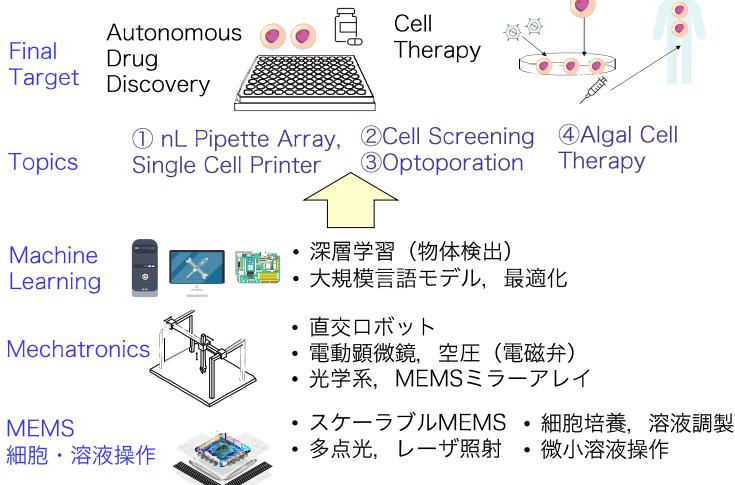
プロジェクトメンバー：次世代半導体・センサ科学研究所 永井 萌土



研究概要

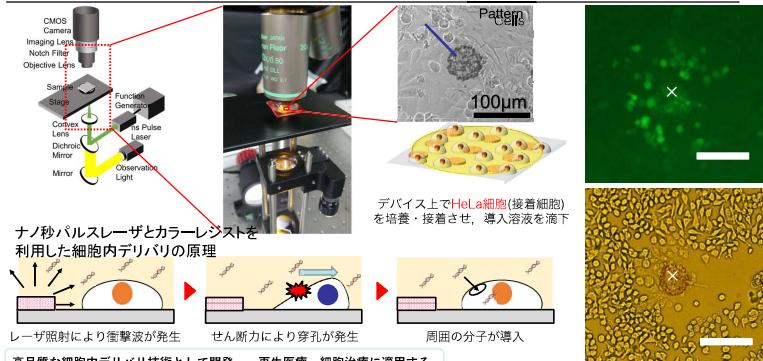
マイクロ・ナノ領域の作業をハイスクール・プラットフォームに達成

当研究室では、マイクロ・ナノ領域の作業のスケールアップを取り組んでいます。特に単一細胞を大量に加工することが求められる「細胞治療」や「創薬」に向けた研究開発を行っています。マイクロ・ナノデバイス、メカトロニクス、情報科学の力を総合し、ハイスクール・プラットフォームな細胞加工処理を実現します。



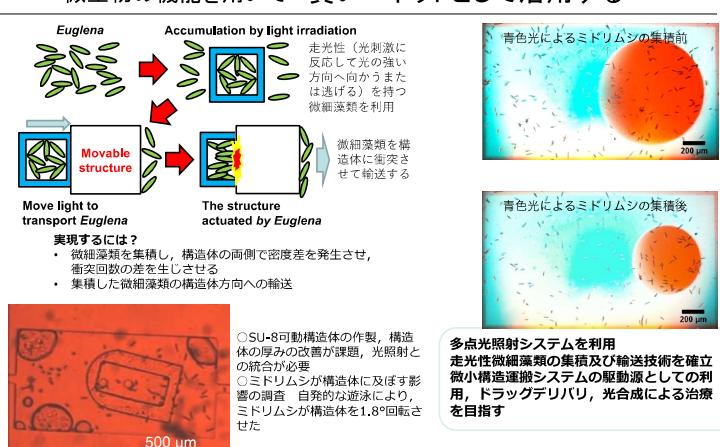
オプトポレーション（光穿孔）

ナノ秒パルス光と吸収体を利用して超並列的に“細胞を加工する”



藻類を用いた細胞治療

微生物の機能を用いて“賢いロボットとして活用する”



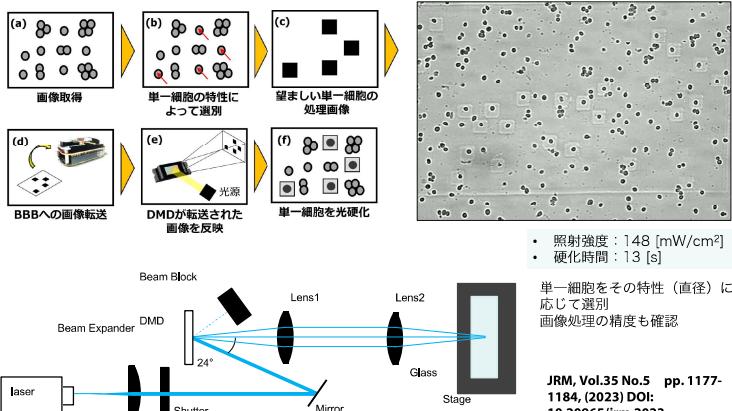
nagai@me.tut.ac.jp

技術を究め、技術を創る
国立大学法人 豊橋技術科学大学

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

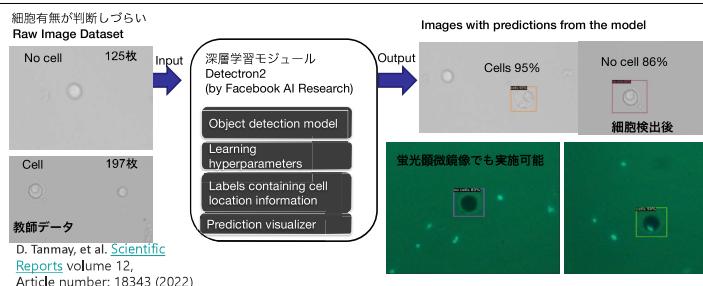
単一細胞スクリーニング

望みの性質を有する細胞を多点光照射により抽出する



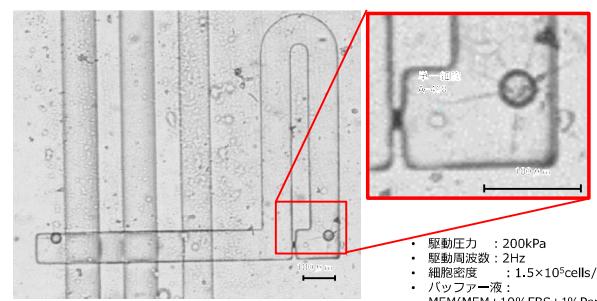
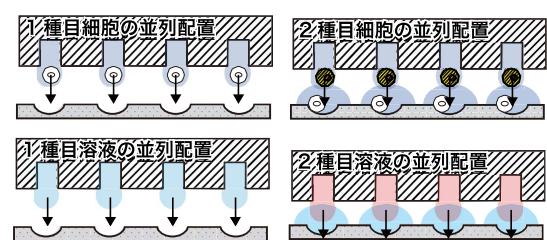
JRM, Vol.35 No.5 pp. 1177-1184, (2023) DOI: 10.20965/jrm.2023.

深層学習を利用して、望みの細胞を学習させ、細胞位置を推定する



nL溶液・単一細胞操作用ピペットアレイ

単一細胞とnLの溶液を利用し、細胞や試薬のペアを形成する



ポンプ統合型ピペットの構造